

# 事業実績報告書

様式 2  
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B - 3 4	講座名	干潟の学校 ～藤前干潟でいろ～んなことしましょ！～
記載日	2021/3/2	団体名・企業名	N P O 法人藤前干潟を守る会
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>秋冬は大潮でも昼間にほとんど干潟は出ないため、春夏のようにドロ干潟に入っの観察会ではできませんが、秋冬には秋冬の楽しみや魅力があります。稲永ビジターセンター側では、昨年に引き続きヨシ原サイドでも英語のみのプログラムを開催したり、年一回のカワザンショウガイ調査を実施したり、バレンタインデーにちなんでカモのカップルを中心に観察をしました。</p> <p>藤前活動センター側では、半世紀前まで豊かな漁場であったことや海苔養殖も盛んだったことを伝え、海苔すき体験を通して、もう一度豊かな藤前干潟を取り戻したいというメッセージを伝えました。なお、例年伊勢湾産の海苔をその場で味わうのですが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため試食を中止したのが残念です。</p>			
			
11月1日 稲永公園ヨシ原にて英語だけで開催。カニがたくさん観察できました。		2月11日 藤前活動センターにて海苔すき体験をしました。暖かくて「海苔すき日和」でした。	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>自然相手の活動は天気は左右されます。今年度は「三密回避」も加わり、例年以上に気を遣うプログラム開催でした。特に第1回「Crab Paradise!」は小さいお子さんも多くフレンドリー且つ元気いっぱい本当に冷や冷やしました。第2回「カワザンショウガイ調査」は、ここ10年で最も寒いかもという一日でした。それでも三密を防ぐため、北西の強い寒風を背に受けて外でソーティングしたりお弁当を食べる姿もありました。</p> <p>それとは対照的に第3回の「海苔を作ろう!」はポカポカと暖かい日差しにも恵まれ、まさに「海苔すき日和」。第4回の「カモのカップルを探せ!」もとても暖かく、カモ以外にも多くの鳥を観察できたうえ、暖かさに誘われたヤマトオサガニやチゴガニまで見られるという、充実したバレンタインデーの観察会となりました。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ It was really good for both adults and kids. We could learn a lot!</li> <li>・ 子供にも分かりやすいよう、話して下さりよかった。</li> <li>・ なかなかできない海苔すき体験ができ、すごく良かったです。昔の人は全てが手作業だったことを改めて学び、勉強になりました。食べるのがたのしみです!! 手巻き寿司をしようかな(笑)</li> <li>・ カモのカップルが見れたので満足です。いろいろ勉強になりました。</li> <li>・ 子供が干潟のサバイバルというマンガを見て興味を持ったので、また観察会に参加したいです。</li> </ul>			

## ●団体紹介

団体所在地	〒465-0064 名古屋市名東区大針3丁目15		
連絡担当者		ウェブサイト	<a href="http://fuiimae.org/">http://fuiimae.org/</a>
TEL		FAX	
E-mail	<a href="mailto:info@fuiimae.org">info@fuiimae.org</a>	携帯電話	080-5157-2002
〈団体・企業の簡単な紹介・PR〉(150文字程度)			
<p>名古屋市の藤前干潟埋立計画に対して、干潟保全の重要性を訴えるために結成されました。活動を進める中で、水質浄化作用等の干潟の有用性を明らかにし、また並行してごみ減量を訴えるなど、広範な環境意識の啓発に努め、結果として干潟の保全実現に大きな役割を果たしました。</p> <p>現在は「稲永ビジターセンター」「藤前活動センター」の管理運営（環境省より業務受託）とともに、藤前干潟のフィールドを用いた環境学習プログラムなどを通し、環境保全の重要性を伝え続けています。</p>			

## ●講座開催情報

第一回	講座名	Crab Paradise!	開催日	11月1日	日
	講師名	ダグラス・ジャレル	参加人数	22	名
	内容	稲永のヨシ原で英語だけのプログラムを開催。題名通りたくさんカニを観察することができた。			
第二回	講座名	カワザンショウガイ調査	開催日	12月13日	日
	講師名	和田太一 梅村幸稔	参加人数	19	名
	内容	砂粒のように小さいカワザンショウガイの年1回の定量調査。カワザンショウガイ類のレクチャー後、ヨシ原で採集。採集地点ごとにゴミや砂粒を取り除くソーティング作業を続けた。			
第三回	講座名	海苔を作ろう！	開催日	2月11日	木
	講師名	戸苅辰弥	参加人数	25	名
	内容	伊勢湾台風前には藤前干潟でも海苔養殖が行われていた歴史を学び、以前の豊かな海に戻したいという願いを込め、海の恵みに感謝し、伊勢湾産（鬼崎漁港）の生海苔を使って海苔すきを体験した。			
第四回	講座名	カモのカップルを探せ！	開催日	2月14日	日
	講師名	間部裕子	参加人数	7	名
	内容	藤前干潟で冬を越すカモを中心に観察。バレンタインデーということもあり、特にカモのカップルに注目した。			
第五回	講座名		開催日		
	講師名		参加人数		名
	内容				